



# 板一中だより

2026年2月27日



学びのエリア7年生：143名 8年生：121名 9年生：117名 計381名

板橋区小中一貫教育「板一中小中一貫学びのエリア」(板二小・板六小・板七小・板一中)

これからの板橋を板橋区基本構想からよみとく

校長 伊藤 聡

みなさんはこれからの板橋区を創り上げていく板橋区民です。まだ中学生なのであまり関係ないと考えず、自分の考えを伝える機会を大事にし、現在の板橋区、これからの板橋区がどのようになっていくのかを考えていく責務があるでしょう。なぜなら9年生は3年たてば選挙権を持ちます。つまり、これからの板橋を作る代表者を自分で選ぶ立場になるからです。

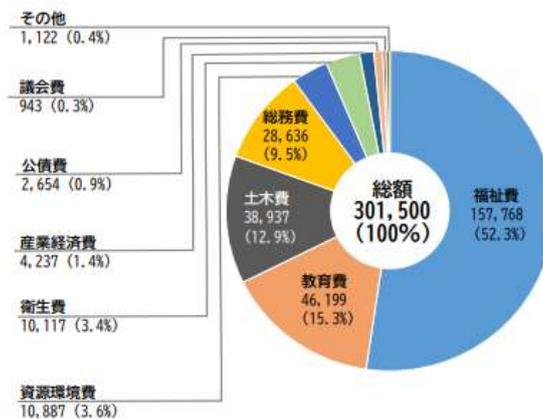


新しい基本構想は、令和8年度から概ね10年後を想定した、板橋区全体の将来像を **未来をひらく 緑と文化のかがやくまち “板橋”**と定めています。「未来をひらく」には、一人ひとりが創造的な発想をはぐくみ、行動し、互いにつながりながら、豊かな自然や文化に囲まれ、子どもたちが笑顔でいられる未来を築き上げていき、包括的なまちづくりが実現される様子が表現されています。ちなみにオフィシャルロゴも新しくなりました。

令和8年度の歳出予算をみると、令和7年度に比べて教育費が25.9%増加して、約95億円が計上されています。増加の要因は様々ありますが、みなさんの学校での教育は多くの税金等に支えられていること、そして将来はみんなが支えていくこととなります。そのような現状を踏まえて、今後の計画の方向性が示されました。それが「ウェルビーイング戦略(ひと)」・「クリエイティブ戦略(まち)」・「トランスフォーメーション戦略(みらい(しくみ))」の3つの戦略です。そして、その内容を確認すると板橋第一中学校に関わる内容がたくさんあります。どのように変わっていくか、楽しみです。

一般会計歳出(目的別)予算額・構成比

(単位：百万円、%)



| 区 | 分 | 8年度               |                   | 7年度               | 比較増減 |
|---|---|-------------------|-------------------|-------------------|------|
|   |   | 予算額<br>(構成比)      | 予算額<br>(構成比)      |                   |      |
| 議 | 会 | 943<br>(0.3)      | 927<br>(0.3)      | 16<br>(1.8)       |      |
| 総 | 務 | 28,636<br>(9.5)   | 28,154<br>(10.2)  | 482<br>(1.7)      |      |
| 福 | 社 | 157,768<br>(52.3) | 153,264<br>(55.7) | 4,504<br>(2.9)    |      |
| 衛 | 生 | 10,117<br>(3.4)   | 10,254<br>(3.7)   | △137<br>(△1.3)    |      |
| 資 | 源 | 10,887<br>(3.6)   | 11,056<br>(4.0)   | △169<br>(△1.5)    |      |
| 産 | 業 | 4,237<br>(1.4)    | 4,762<br>(1.7)    | △525<br>(△11.0)   |      |
| 土 | 木 | 38,937<br>(12.9)  | 24,432<br>(8.9)   | 14,505<br>(59.4)  |      |
| 教 | 育 | 46,199<br>(15.3)  | 36,705<br>(13.3)  | 9,494<br>(25.9)   |      |
| 公 | 債 | 2,654<br>(0.9)    | 4,866<br>(1.8)    | △2,212<br>(△45.5) |      |
| 諸 | 支 | 722<br>(0.3)      | 480<br>(0.2)      | 242<br>(50.5)     |      |
| 予 | 備 | 400<br>(0.1)      | 400<br>(0.2)      | 0<br>(0.0)        |      |
| 合 | 計 | 301,500<br>(100)  | 275,300<br>(100)  | 26,200<br>(9.5)   |      |

**ウェルビーイング戦略**  
心身の充実と幸福感をはぐくみ、未来への価値創造を推進する  
“ひと”の視点

**クリエイティブ戦略**  
多様な価値を共創し、地域の魅力と創造性を高める  
“まち”の視点

**トランスフォーメーション戦略**  
社会変革(DX・GX・SX)を促進する  
“みらい(しくみ)”の視点

## ○ウェルビーイング戦略 より

### (3)文化芸術の花がひらく「文化の居場所」

文化会館の地下1階をリニューアル工事し、様々な創作活動や体験ができる「文化の居場所」として開放します。

区内で活動するアーティストや、関係団体、地域や大学をはじめとした様々なステークホルダーを開拓しながら連携し合い、文化芸術を主なテーマとしたプログラムを定期的に企画・開催します。子ども・若者を中心とした区民が気軽に立ち寄り、日常的に活動できるオープンな空間を創ることで、人と人との交流をより一層促進し、新たな文化の創造・発信拠点としての機能強化を図ります。



## ○クリエイティブ戦略 より

### (3)続々!「絵本のまち」推進事業

令和8年度も、区民まつりで「絵本のまちひろば」を、区立美術館で「ポーロニャ国際絵本原画展」の開催を継続します。

加えて、誰もが楽しめる絵本(さわる絵本)の普及や絵本のプレゼント事業等により、誰もが絵本に触れられる機会をつくり、「絵本のまち板橋」をさらに推進していきます。



絵本のまちひろば(令和7年度)

### 大山駅周辺地区のまちづくり

#### 【凡例】

- 大山まちづくり総合計画の対象区域
- 都市計画道路
- 都市計画道路(事業中)
- 商店街
- 市街地再開発事業
- 駅前広場整備事業
- 主要施設
- 踏切
- 地下連絡通路
- ↔ 連続立体交差事業区間



## ○トランスフォーメーション戦略

### (2)グリーンホール施設再整備

～高齢・障がい・福祉の“総合支援拠点”へ転換～

ホールや貸会議室機能を移転し、東京都健康長寿医療センター・板橋キャンパス跡地の高齢・障がい施設との連携の視点をもって、①よりよい ②まじわり ③つながり の3つの活用コンセプトを設定し、高齢・障がい・福祉の総合的・包括的支援拠点を整備する方向で検討を進めていきます。